

「5つの視点」の項目名一覧

1. 1人1人に着目した連続性のある指導・支援の充実（子どもたちへの支援の在り方等）

主な重点項目	目指す方向性
(1) 通常のカリキュラムの中でできる個別の配慮や支援を求めやすい雰囲気づくりの工夫	1 合理的配慮の実践の蓄積
	2 研修体制や関係機関等との連携の強化、校内支援体制の整備
	3 幼保小の連携
(2) 障害特性に応じた指導・支援方法の研究・周知	1 子どもが得意なことを生かす教育
	2 特別支援学校における読書活動の促進
	3 ICT機器等に関する教職員のノウハウの構築
	4 文化・芸術、スポーツ等に接する機会の確保
	5 県立特別支援学校との連携
	6 高等学校等との連携体制の強化
(3) 「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」及び「移行支援計画」の作成・活用	1 「個別の教育支援計画」等の有効活用
(4) 「交流及び共同学習」の推進	1 「交流及び共同学習」の充実
(5) 就労支援の充実、福祉等との連携	1 就労支援の充実、福祉等との連携
	2 作業学習プログラムの充実、特別支援学校同士のプログラムの相互活用

2. 相談支援体制の整備（保護者や学校、関係機関等への支援の在り方等）

主な重点項目	目指す方向性
(1) 関係局・機関等との連携強化、特別支援学校のセンタ－的機能の充実	1 教職員の研修体制の強化と教職員への情報提供の充実
	2 コーディネーターの複数配置
	3 本人・保護者の同意に基づいた検査内容や相談内容の共有
(2) 相談窓口等を分かりやすく周知	1 分かりやすい相談窓口の提示
(3) 学校や関係機関等に対する特別支援教育の理解の推進	1 就学先決定の仕組みに関する情報提供の充実
	2 就学前説明会での情報提供の充実

3. 教員の専門性の向上、外部人材等の活用（専門性確保の在り方等）

主な重点項目	目指す方向性
(1) 教職員の指導力及び専門性の向上	1 「チーム学校」の観点に基づく教職員全体の特別支援教育の理解促進
(2) 特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等への研修の充実	1 各種研修に様々な人材が参加できる体制づくり
	2 研修プログラムの充実及び研修機会の確保
(3) 専門性の継承、中核教員の育成	1 中核教員の育成、専門性の確保等
	2 専門性の高い教員の確保
(4) 外部人材等の配置・活用、多面的な支援の充実	1 外部専門家等の派遣
	2 教育的ニーズに応じた人材等の確保・活用
	3 地域の教育資源の組合せによる多面的な支援の充実
	4 私立幼稚園に対する支援
	5 就学前期の指導・支援の充実

4. 障害者理解の促進（社会への働きかけの在り方等）

重点項目	目指す方向性
(1) 特別支援教育の理解促進(市民や関係機関、教職員、子どもたちへの情報提供)	1 人権意識の向上
	2 個別の配慮を必要とする子どもたちを地域で支える意識の向上
	3 就労支援等の充実
(2) 特別支援学校や特別支援学級の活動紹介	1 特別支援教育に対する理解の促進
	2 子どもたちの頑張る姿を社会にPRする機会の確保
(3) 「交流及び共同学習」の推進	1 「交流及び共同学習」の充実
(4) 市民や企業の協力を踏まえた教材・教具・作品づくりなど	1 市民や企業の協力を踏まえた教材・教具・作品の作成

5. 施設・設備面の整備（多様な学びの場の整備の在り方等）

重点項目	目指す方向性
(1) 教育的ニーズに応じた学校施設・設備の整備	1 施設・設備面の整備
	2 教育環境の整備
(2) 特別支援教育の対象者数の増加等への対応	1 特別支援学級の設置
	2 通級指導教室の設置
	3 特別支援学校の再編整備

「北九州市特別支援教育推進プラン」策定後の実績

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
1 - (1) - 1	「特別支援教育だより」による合理的配慮に関する情報提供	年度	H29	H30	R1	R2	定期的に発行できているので順調であるが、内容、配布先、周知方法については要工夫 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実績	4刊	4刊	4刊	4刊		
1 - (1) - 2	校内委員会設置している学校園数	年度	H29	H30	R1	R2	校内委員会は専修・理美容を除く全校に設置 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	211校	209校	205校	204校		
		実績	211校	209校	205校	204校		
1 - (1) - 2	特別支援教育コーディネーター養成研修（～H30） ミドルリーダー養成研修（R1～）	年度	H29	H30	R1	R2	R1からは、人数を絞って、より実践的な研修を開始。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止になったが、R1までは達成率は135% 【大変順調：継続】	特別支援教育課
		目標	50人	50人	30人	30人		
		実績	70人	79人	27人	中止		
1 - (1) - 3	早期相談と早期巡回相談	年度	H29	H30	R1	R2	件数に増減があるが、申込には全件対応できている。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で減少 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実績	223人	194人	199人	153人		
1 - (1) - 3	特別支援教育コーディネーター連絡会議（幼・保の教員も参加可）の講座数・参加者	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はコロナのため、リモートで実施、1講座中止 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	3講座 395人	3講座 413人	3講座 439人	2講座 472人		
1 - (1) - 3	保幼小の連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度は新型コロナウイルス感染症の園教により前年度を下回ったが、目標の約90%を達成し、他の年度は目標を上回った。 【順調：継続】	子ども家庭局 幼稚園・こども園課
		目標	97.0%	97.0%	98.0%	98.5%		
		実績	97.5%	98.5%	99.0%	88.3%		
1 - (2) - 1	個別の教育支援計画の作成	年度	H29	H30	R1	R2	目標設定はH30から。90%以上の達成率であり、H30の全国平均84.1%を上回っている。 【順調：継続（作成率の向上）】	特別支援教育課
		目標	-	70.0%	91.0%	93.3%		
		実績	90.8%	88.7%	85.7%	84.9%		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
1 - (2) - 2	学校図書館職員の配置（巡回配置）	年度	H29	H30	R1	R2	小倉総合は拠点校として1名配置、他は拠点校からの巡回（3校を1人が担当）。H29は一人で7校を巡回していたが、H30以降は3日に1回程度の巡回 【順調：継続】	学校経営・教育指導課
		目標	目標なし					
		実績	44人 特支学校7校を一人が担当	50人 近接した3校を1人が担当	56人 近接した3校を1人が担当	63人 近接した3校を1人が担当		
1 - (2) - 3	ICTを活用した授業ができる教員の割合	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度で全国平均（69.7%【H30年度】）の8割程度となっている。また、GIGAスクール構想の加速により市立の全小中特支学校に1人1台のタブレット端末を整備し、各学校でICTを活用した授業実践が行われた。 【順調：強化し継続】	教育情報化推進課
		目標	90%	100%	全国平均	全国平均		
		実績	72.2%	67.5%	-	56.6%		
1 - (2) - 3	①ICT教育研究 ② ICT教育研修会（魔法のPJ、音声教材）	年度	H29	H30	R1	R2	①は一定数を維持できている。 【順調：継続】 ②R2はコロナ感染症拡大防止の影響で中止（資料配布） 【やや遅れ：強化し継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績①	3人	3人	5人	5人		
		実績②		2回	1回	資料配布		
1 - (2) - 4	「ふれあいコンサート」の実施	年度	H29	H30	R1	R2	R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、例年同程度の会場数で実施できている。 【順調：継続】	市民文化スポーツ局 文化企画課
		目標	目標なし					
		実績	8か所	8か所	8か所	中止		
1 - (2) - 4	特別支援学級合同スポーツ大会の実施（参加人数）	年度	H29	H30	R1	R2	一定の参加人数は維持できている。R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止 【順調：継続（実施方法の工夫）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	975人	982人	971人	中止		
1 - (2) - 4	合同作品展への来場者数	年度	H29	H30	R1	R2	H30は減少したが、R1は再度増加した。R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止 【順調：継続（PR方法の工夫）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	5,696人	4,322人	4,913人	中止		
1 - (2) - 4	小学生ふうせんバレーボール大会	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催したが、H29からR1の実績より順調とした。 【順調：継続】	保健福祉局 障害福祉企画課
		目標	目標なし					
		実績	211人	252人	247人	146人		
1 - (2) - 4	障害者芸術祭ステージイベント	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。H29からR1の実績により順調とした。 【順調：継続】	保健福祉局 障害福祉企画課
		目標	対前年比増					
		実績	1,600人	1,200人	1,300人	中止		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗					評価理由等	所管部課
1 - (2) - 5	県立小倉聴覚特支と三郎丸小 (キッズダンス・ゆるスポ) 県立北九州視覚特支と高見中 (フロアバレー・芸術表現)	年度	H29	H30	R1	R2	H29からの事業開始で前年度を除き継続している。R2も実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	実施	実施	実施	中止		
1 - (2) - 6	特別支援教育コーディネーター連絡会議（高校の教員も参加可）の参加者	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はリモートで実施 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	395人	413人	439人	472人		
1 - (3) - 1	個別の教育支援計画の作成	年度	H29	H30	R1	R2	目標設定はH30から。90%以上の達成率であり、H30の全国平均84.1%を上回っている。 【順調：継続（作成率の向上）】	特別支援教育課
		目標	-	70.0%	91.0%	93.3%		
		実績	90.8%	88.7%	85.7%	84.9%		
1 - (4) - 1	特別支援学級合同スポーツ大会の実施 (参加人数)	年度	H29	H30	R1	R2	一定の参加人数は維持できている。R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止となった。 【順調：継続（実施方法の工夫）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	975人	982人	971人	中止		
1 - (4) - 1	自・情学級在籍児童生徒の交流及び共同学習（修学旅行、運動会等）	年度	H29	H30	R1	R2	R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で十分な交流ができなかったが、達成率としては79.6%以上である。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	小 中	- -	前年度以上 89.0%	前年度以上 90.0%		
		実績		98.5% 88.2%	97.0% 84.7%	90.0% 71.6%		
1 - (5) - 1	就労支援コーディネーターによる職場実習先や就労先の新規開拓	年度	H29	H30	R1	R2	4年間の合計では、達成率は178%で大変順調 【大変順調：継続】	特別支援教育課
		目標	50社	50社	30社	30社		
		実績	37社	163社	56社	29社		
1 - (5) - 1	移行支援計画を通じた個別の配慮事項等に関する情報の引継ぎ（移行支援計画作成人数）	年度	H29	H30	R1	R2	特別支援学校高等部卒業生に対して作成 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	153人	143人	151人	161人		
1 - (5) - 2	就労支援専門家の派遣 (派遣回数①) 一般就業率（高等部全体②）	年度	H29	H30	R1	R2	派遣回数は若干減少しているが、一般就業率は微増している。なお、R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で派遣回数や就業率は減少している。 【①順調：継続 ②やや遅れ：強化継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実① 績②	250回 34.0%	209回 42.0%	206回 42.6%	187回 25.0%		

北九州市特別支援教育推進プランの関連事業と実績

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
2 - (1) - 1	特別支援教育コーディネーター養成研修（～H30） ミドルリーダー養成研修（R1～）	年度	H29	H30	R1	R2	R1からは、人数を絞って、より実践的な研修を開始。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止になったが、R1までは達成率は135% 【大変順調：継続】	特別支援教育課
		目標	50人	50人	30人	30人		
		実績	70人	79人	27人	中止		
2 - (1) - 1	特相センター又は特別支援学校のセンター的機能を活用した相談支援の実施校	年度	H29	H30	R1	R2	R2は目標の96.9%で順調 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	196校	201校	197校	196校		
		実績	185校	189校	188校	190校		
2 - (1) - 2	特別支援教育コーディネーター連絡会議（幼・保の教員も参加可）の講座数・参加者	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はコロナのため、リモートで実施、1講座中止 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	3講座 395人	3講座 413人	3講座 439人	2講座 472人		
2 - (1) - 2	特別支援教育コーディネーター複数配置校の割合（小・中）	年度	H29	H30	R1	R2	複数配置校の割合は順調に伸びている。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	62.4%	70.1%	83.2%	92.7%		
2 - (1) - 3	個別の教育支援計画の作成	年度	H29	H30	R1	R2	目標設定はH30から。90%以上の達成率であり、H30の全国平均84.1%を上回っている。 【順調：継続（作成率の向上）】	特別支援教育課
		目標	-	70.0%	91.0%	93.3%		
		実績	90.8%	88.7%	85.7%	84.9%		
2 - (1) - 3	発達障害者総合支援事業 ・相談支援 ・就労支援 ・普及、啓発、研修	年度	H29	H30	R1	R2	前年度比でもより多くの支援を行っている。継続して現状を維持しつつ、支援体制の強化に努めたい。 【順調：継続】	保健福祉局 精神保健福祉課
		目標	目標なし					
		実績	3,778件	3,873件	3,827件	3,955件		
2 - (2) - 1	「北九州市の特別支援教育」パンフレットの作成・配布	年度	H29	H30	R1	R2	就学相談、巡回・早期相談、区の子ども・家庭相談コーナーなどの相談者、その他小・中・特支に配布、左記以外にも数百部複写している。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	2,000部	2,000部	1,500部	1,800部		
2 - (2) - 1	障害者基幹相談支援センターの相談件数	年度	H29	H30	R1	R2	H30-R1は目標を超えており、R2年度も目標の約95%を達成しているので順調 【順調：継続】	保健福祉局 障害者支援課
		目標	H29年度実績と同水準を維持					
		実績	22,086件	24,063件	24,387件	20,876件		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
2 - (3) - 1	特相センターで実施する相談（教育相談、早期相談、就学・通級相談）人数の合計	年度	H29	H30	R1	R2	多少の増減はあるが、申込にはすべて対応しており、その際に必要な情報提供を行っている。 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実績	2,130件	2,113件	2,280件	2,132件		
2 - (3) - 1	「北九州市の特別支援教育」パンフレットの作成・配布	年度	H29	H30	R1	R2	就学相談、巡回・早期相談、区の子ども・家庭相談コーナーなどの相談者、その他小・中・特支に配布、左記以外にも数百部増刷している。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	2,000部	2,000部	1,500部	1,800部		
2 - (3) - 2	①「北九州市の特別支援教育」パンフレットや②「特別支援教育だより」の配布	年度	H29	H30	R1	R2	各学校の就学前説明会や特相センターの等の相談の場で説明又は配布している。 【順調：継続】	特別支援教育課 特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実①	4刊	4刊	4刊	4刊		
		績②	2,000部	2,000部	1,500部	1,800部		
2 - (3) - 2	相談しやすい体制づくり 【就学・通級相談の人数の合計】	年度	H29	H30	R1	R2	R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、若干減少したが、相談件数は右肩上がりの傾向である。 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実績	1,266人	1,281人	1,428人	1,391人		

北九州市特別支援教育推進プランの関連事業と実績

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
3 - (1) - 1	【～H30】特別支援教育コーディネーター養成研修修了者（累計） 【R1～】特別支援教育ミドルリーダー養成研修（累計）	年度	H29	H30	R1	R2	基礎的な養成研修は一定数へ実施できたので、R1から、より実践的な研修を開始（R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	350人	400人	30人	60人		
		実績	490人	569人	29人	29人		
3 - (2) - 1	特別支援教育コーディネーター連絡会議（幼・保の教員も参加可）の講座数・参加者	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はコロナのため、リモートで実施、1講座中止。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	3講座 395人	3講座 413人	3講座 439人	2講座 472人		
3 - (2) - 2	各種研修の実施	年度	H29	H30	R1	R2	教育センター、特別支援教育課において定期又は随時に実施。 【順調：継続】	教育センター 特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	プランP55のとおり					
3 - (3) - 1	特別支援学校の特別支援学校教諭免許の取得率 ※R2年度政令市平均＝89.1%	年度	H29	H30	R1	R2	着実に取得率は上昇している。 【順調：継続】	教職員課
		目標	-	-	96.0%	97.0%		
		実績	92.1%	96.0%	99.2%	99.5%		
3 - (3) - 1	特別支援教育ミドルリーダー育成研修	年度	H29	H30	R1	R2	基礎的な養成研修は一定数への研修が終了したため、R1から、より実践的な中堅職員向けの研修を開始。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	-	-	30人	30人		
		実績	-	-	29人	中止		
3 - (3) - 2	特別支援学校枠による採用	年度	H29	H30	R1	R2	特別支援学校教諭免許状を所有する専門性の高い教員を、毎年一定数確保できている。 【順調：継続】	教職員課
		目標	目標なし					
		実績	26人	39人	55人	54人		
3 - (4) - 1	外部専門家の派遣回数 （医師、臨床心理士等）	年度	H29	H30	R1	R2	派遣回数は、徐々にではあるが増えており、また、必要な派遣回数を確保している。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	482回	501回	529回	524回		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
3 - (4) - 2	①学習支援員、②介助員、③看護師、④SSWの配置、⑤SC、⑥特別支援学級補助講師	年度	H29	H30	R1	R2	学習支援員、SSWについては、増員を図っている。また、介助員と看護師については必要数を確保できている。 なお、看護師については、R2から、通常の小・中学校への看護師の派遣制度（委託）を開始 【順調：一部強化し継続】	教職員課 特別支援教育課 生徒指導・教育相談課
		目標	目標なし					
		①	19人	37人	50人	50人		
		②	20人	26人	30人	30人		
		③	7人	7人	9人	9人		
		④	12人	12人	15人	17人		
		⑤	64人	63人	64人	64人		
⑥	55人	55人	55人	55人				
3 - (4) - 2	スクールソーシャルワーカーの活用（解決好転率）	年度	H29	H30	R1	R2	SSWリーダーによるOJTの推進や効果的な研修等を実施することで、SSWの資質向上やスキルアップを図っており、解決好転率も上昇している。 【順調：継続】	生徒指導・教育相談課
		目標	目標なし					
		実績	40.5%	43.5%	39.8%	52.8%		
3 - (4) - 3	特別支援教育コーディネーター連絡会議の参加者（情報交換など実施）	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はオンデマンド。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	395人	413人	439人	472人		
3 - (4) - 3	特別支援学校のセンター的機能を活用した訪問・来校相談人数	年度	H29	H30	R1	R2	相談人数は減少傾向であるが（R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響あり）、各学校の特支Co.の増や実力向上により、センター的機能による相談件数が減少したものと認識 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	757人	970人	614人	259人		
3 - (4) - 4, 5	早期相談と早期巡回相談の人数（私立幼稚園も対象）	年度	H29	H30	R1	R2	やや減少傾向であるが（R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響あり）、希望者へはすべて対応できている。 【順調：継続】	特別支援教育相談センター
		目標	目標なし					
		実績	223人	194人	199人	153人		
3 - (4) - 4, 5	特別支援教育コーディネーター連絡会議の参加者（研修には私立幼稚園の教員も参加可）	年度	H29	H30	R1	R2	参加者は順調に維持できている。R2はオンデマンド。 【順調：継続（私立への周知強化）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	395人	413人	439人	472人		

北九州市特別支援教育推進プランの関連事業と実績

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
4 - (1) - 1	特別支援学校・特別支援学級合同作品展の実施（一般来場者数）	年度	H29	H30	R1	R2	一般観覧者は、一旦、減少したが、回復傾向である。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	4,769人	3,843人	4,172人	中止		
4 - (1) - 1	障害者スポーツ大会など学校間や地域との「交流及び共同学習」の参加校	年度	H29	H30	R1	R2	国委託の「心のバリアフリー事業」はR1で終了したが、今後とも内容・実施方法を見直ししながら実施予定。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で中止。 【順調：一部見直して継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	11校	14校	15校	中止		
4 - (1) - 1	障害者差別解消・共生社会推進事業	年度	H29	H30	R1	R2	相談から紛争解決までの一貫した体制を継続し、障害を理由とする差別の解消に努めた。また、障害者差別解消条例や合理的配慮について理解を深めてもらえるよう、市民や事業者に対する出前公演を実施した。 【順調：継続】	保健福祉局 障害福祉企画課
		目標	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施		
		実績	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施	相談窓口 運営・啓発 活動実施		
4 - (1) - 1	「北九州子どもつながり（北九州市対人スキルアップ）プログラム第一版、追加版」の活用実施	年度	H29	H30	R1	R2	「北九州子どもつながり（北九州市対人スキルアップ）プログラム全校種で活用し、授業実践に取り組むことができた。 【順調：継続】	生徒指導・教育相談課
		目標	200校	200校	198校	198校		
		実績	100%	100%	100%	100%		
4 - (1) - 1	発達障害者総合支援事業（普及・啓発、研修）	年度	H29	H30	R1	R2	概ね前年並みの実績を維持しており、R2年度は大幅に伸びている。 【順調：継続】	保健福祉局 精神保健福祉課
		目標	目標なし					
		実績	158件	154件	146件	263件		
4 - (1) - 2	「市民・学校・企業との連携による教材・教具・作品づくり」事業（ボランティアの登録数）	年度	H29	H30	R1	R2	ボランティアの登録数は徐々に増えており、地域とのつながりも出てきていると認識。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	8名	25名	34名	37名		
4 - (1) - 2	スクールヘルパーの配置 ※延べ活動人員	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響で11月まで活動を中止していたため、目標を大きく下回っているが、それまでは、80%以上の達成率であることから順調と判断。 【順調：継続】	学校経営・教育指導課
		目標	120,000人	120,000人	前年度 水準維持	-		
		実績	110,358人	100,074人	84,732人	27,619人		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
4 - (1) - 3	高等部卒業生①全体の一般企業就職率 (②中央高等学園は就労A含む。)	年度	H29	H30	R1	R2	就職率は上昇傾向であったが、R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、実習ができず生徒が就労に不安を抱えるなどの理由で、低下した。中央高等は概ね高い率を維持。※ 目標のうち、H29,30は②に、R1,2は①に対する目標値 【順調：一部強化して継続】	特別支援教育課
		目標	98.0%	100%	43.6%	45.2%		
		実①	34.0%	42.0%	42.6%	25.0%		
		績②	97.0%	97.8%	97.9%	94.3%		
4 - (1) - 3	就労支援コーディネーターによる職場 実習先や就労先の新規開拓	年度	H29	H30	R1	R2	4年間の合計では、達成率は178%で大変順調。 【大変順調：継続】	特別支援教育課
		目標	50社	50社	30社	30社		
		実績	37社	163社	56社	29社		
4 - (2) - 1	特別支援学校・特別支援学級合同作品 展の実施（一般来場者数）	年度	H29	H30	R1	R2	一般観覧者は、一旦、減少したが、回復傾向である。 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	4,769人	3,843人	4,172人	中止		
4 - (2) - 1	特別支援学級合同スポーツ大会への参 加者数	年度	H29	H30	R1	R2	一定規模を維持している。R2は新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため中止。 【順調：実施方法を見直して継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	975人	982人	971人	中止		
4 - (2) - 2	障害者芸術祭ステージイベント	年度	H29	H30	R1	R2	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 中止した。H29からR1の実績により順調とした。 【順調：継続】	保健福祉局 障害福祉企画課
		目標	対前年比増					
		実績	1,600人	1,200人	1,300人	中止		
4 - (3) - 1	特別支援学級合同スポーツ大会への参 加者数	年度	H29	H30	R1	R2	一定規模を維持している。R2は新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため中止。 【順調：継続（実施方法を見直し）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	975人	982人	971人	中止		
4 - (4) - 1	「市民・学校・企業との連携による教 材・教具・作品づくり」事業（ポラン ティアの登録数）	年度	H29	H30	R1	R2	ボランティアの登録数は徐々に増えており、地域との つながりも出てきていると認識。 【順調：継続】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	8名	25名	34名	37名		

北九州市特別支援教育推進プランの関連事業と実績

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
5 - (1) - 1	特別支援環境整備事業 (小学校)	年度	H29	H30	R1	R2	要求された工事について、概ね対応できているため、 順調と判断（しかしながら、予算上の制約や整備可能 教室の不足という課題がある。）。 【順調：継続】	施設課
		目標	目標なし					
		実績(千円)	77,856	124,193	46,988	40,111		
5 - (1) - 1	特別支援環境整備事業 (中学校)	年度	H29	H30	R1	R2	【順調：継続】	
		目標	目標なし					
		実績(千円)	49,382	63,607	23,942	32,518		
5 - (1) - 2	GIGAスクール構想を含む一人一台端 末の整備	年度	H29	H30	R1	R2	これまで特別支援学級（小・中）と特別支援学校 （小・中）に整備し、令和3年度は高等部に導入する 予定。 【大変順調：R3導入完了予定】	教育情報化推進課
		目標	目標なし					
		実績			市内の全小中特支学校 （小・中）に導入			
5 - (2) - 1	特別支援学級の設置校（小・中）	年度	H29	H30	R1	R2	児童生徒の障害の状況や地域的な設置状況を踏まえ て、必要に応じて適切に設置（設置率86%）。 【順調：適正配置の継続】	特別支援教育課 教職員課
		目標	160校	165校	165校	168校		
		実績	160校	164校	165校	165校		
5 - (2) - 1	特別支援学級の学級数（小・中）	年度	H29	H30	R1	R2	児童生徒の障害の状況や地域的な設置状況を踏まえ て、必要に応じて適切に設置。 【順調：適正配置の継続】	特別支援教育課 教職員課
		目標	目標なし					
		実績	336学級	361学級	363学級	378学級		
5 - (2) - 1	通級指導教室の設置（小・中）	年度	H29	H30	R1	R2	小学校は令和3年度から特別支援教室に移行。中学校 は特別支援教室と通級の併用。 R1,2の減少は特別支援教室への移行に伴うもの。 【順調：継続】	特別支援教育課 特別支援教育相談セ ンター
		目標	目標なし					
		実績	19校	22校	19校	13校		
5 - (2) - 1	①スクールカウンセラー、②スクー ルソーシャルワーカーの配置	年度	H29	H30	R1	R2	①中学校区、特別支援学校8校に配置し、各学校にて活 用している。 ②必要に応じて、小・中・高・特別支援学校に派遣し ている。 【順調：継続】	生徒指導・教育相談 課
		目標	目標なし					
		実績①	64人	63人	64人	64人		
	実績②	12人	12人	15人	17人			
5 - (2) - 1	スクールソーシャルワーカーの活用 (解決好転率)	年度	H29	H30	R1	R2	SSWリーダーによるOJTの推進や効果的な研修等 を実施することで、SSWの資質向上やスキルアップ を図っており、解決好転率も上昇している。 【順調：継続】	生徒指導・教育相談 課
		目標	目標なし					
		実績	40.5%	43.5%	39.8%	52.8%		

目指す方向性の項目	関連事業（指標）名	実績又は進捗				評価理由等	所管部課	
		年度	H29	H30	R1			R2
5 - (2) - 2	特別支援教室の設置	年度	H29	H30	R1	R2	令和3年度から全区の小学校に導入 中学校は、成果と課題を踏まえて、導入の在り方を検討 【順調：継続（中学は見直して継続）】	特別支援教育課
		目標	目標なし					
		実績	R1から事業開始		22校	56校		
5 - (2) - 3	小倉総合特別支援学校整備事業	年度	H29	H30	R1	R2	工事は順調に進捗している。 令和3年度グラウンド整備等を行い完了予定。 【順調：R3年度事業完了予定】	企画調整課
		目標	目標なし					
		実績	実施設計	改修工事	改修工事	改修工事		
5 - (2) - 3	小池特別支援学校整備事業	年度	H29	H30	R1	R2	計画どおり 令和5年度中、供用開始予定 【順調：継続】	企画調整課
		目標	目標なし					
		実績	基本計画	基本設計	実施設計	建築工事		
5 - (2) - 3	小倉北特別支援学校・北九州中央高等学園整備事業	年度	H29	H30	R1	R2	計画どおり 令和7年度中、供用開始予定 【順調：継続】	企画調整課
		目標	目標なし					
		実績	-	-	-	基本計画		

- ※ 1 目標値があるものについては、達成率が120%以上の場合を「大変順調」、60%以上を「順調」、40%以上を「やや遅れ」、40%未満を「遅れ」と評価している。
2 所属部課で、局名の記載がないものは教育委員会